

救命救急センターにおける脳卒中（くも膜下出血、脳出血、脳梗塞）の実態調査

2013年から2023年までに脳卒中のために入院治療を受けた患者さん

研究協力をお願い

当科では「当院における脳卒中（くも膜下出血、脳出血、脳梗塞）の実態調査」という研究を行います。この研究は、2013年1月1日より2023年12月31日までに日本医科大学多摩永山病院救命救急センターにて、脳卒中のために入院治療を受けた患者さんの実態を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：当院における脳卒中（くも膜下出血、脳出血、脳梗塞）の実態調査に関する研究

研究期間：2013年1月1日より2022年12月31日

研究責任者：日本医科大学多摩永山病院 救命救急センター 金子純也

(2) 研究の意義、目的について

日本医科大学多摩永山病院救命救急センターでは、生命の危機に瀕した重症患者さんに対しても積極的に治療を行なっています。本研究では救命救急センターに脳卒中（くも膜下出血、脳出血、脳梗塞）により入院加療を受けられた患者さんの実態を調査し治療成績を明らかにすることを目的とします。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2013年1月1日より2022年12月31日までに日本医科大学多摩永山病院救命救急センターにて、脳卒中（くも膜下出血、脳出血、脳梗塞）により入院加療を受けられた患者さんの背景、発症様式、診断、治療内容、退院後の状態についての検討を行います。この研究は患者さんの入院カルテから検査データ、画像データを用いて行われます。また長期的な状態を把握するため、外来での問診や、電話での回答をお願いする場合があります。

試料：なし

情報：年齢、性別、以前の病歴、来院時の状態（意識レベル、血圧、瞳孔所見等）、一般採血データ（血算、凝固系、肝腎機能、電解質等）、診断、画像所見（CT、MRI）、退院時の転帰（生活レベル、後遺症の有無等）

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学多摩永山病院 救命救急センター 助教/医員 金子 純也

〒206-8512 東京都多摩市永山1丁目7-1

電話番号：042-371-2111（代表） 内線：2248

メールアドレス：nagayama_chiken_center@nms.ac.jp